

やる気と感動

学校だより 15号

平成30年

9月18日(火)

= 大きな輪と感動が広がった 第8回輝城祭 閉祭 その2 =

2日目は、吹奏楽部の演奏から始まりました。県吹奏楽コンクールで演奏した『ガルーダの翼』という大曲、文化部門の踊り、「USA」のかけ声、みんなで盛り上げた素敵なひとときでした。三年生の演劇『Happy Birthday』は、『絆』ということばが嫌いな二人の絆の物語で、笑いもちりばめながら、明日に向かう勇気がもらえた演劇でした。全校合唱の『校歌』『決意』は一緒に合唱に参加していたので全体的な出来映えはわかりませんが、心地よいハーモニーを感じながら歌えました。(練習時間があればもっと上手になれる気もします。)午後の体育部門は、各学年の集団行動から始まりました。各学年授業の成果を十分に発揮した気合いの入った演技でした。三年生の演技は、今後後輩たちの目標となると思います。3時間半を超える競技はリレーを除いては全員参加で、汗だくになってのプレーと声をからした全力応援で大いに盛り上がりました。今年も生徒の力だけで集合・整列・入場・退場をやりきりました。今後は運営自体もより多くの部分で、生徒自らの力で進められる事を期待します。得点や順位を競う体育部門なので、結果の受け止め方によっては、テーマである『輪』を乱す可能性もあったのですが、温かく勝者をたたえる雰囲気があり、今後につながる充実した内容でした。

フォークダンスは恒例のジギスカンは4回も踊り、OBも巻き込んでへとへとになるまで踊りました。閉祭式は感動のシーンを映像と代表の言葉でふり返り、しっとりとした中で感動を分かち合いました。輝城祭にご協力をいただいた全ての方々に感謝しながら、生徒会長の閉祭宣言で『第8回輝城祭』は閉祭しました。

その後、20分程度でしたが各学年でまとめの会を持ちました。一生懸命取り組んで、大きな輪と感動を残した第8回輝城祭を、評価し合う貴重な時間となったと思います。

先週の火曜日に実施した各担当別の会議や、まとめのアンケートなどから、生徒会事務局より提案されます。その総括がまだ残されていますので最後までやりきってください。

来年度は現1・2年生が中心となって、第8回輝城祭の成果を糧に、さらに輝く第9回輝城祭を目指してくれると思います。期待しています。まだまだ書き切れない感動のシーンや、成果がありますが、学年・学級通信や子どもさんからの話を聞く中で、その頑張りを評価してあげてください。第8回輝城祭開催に係わり、支えていただいた全ての方々に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

